

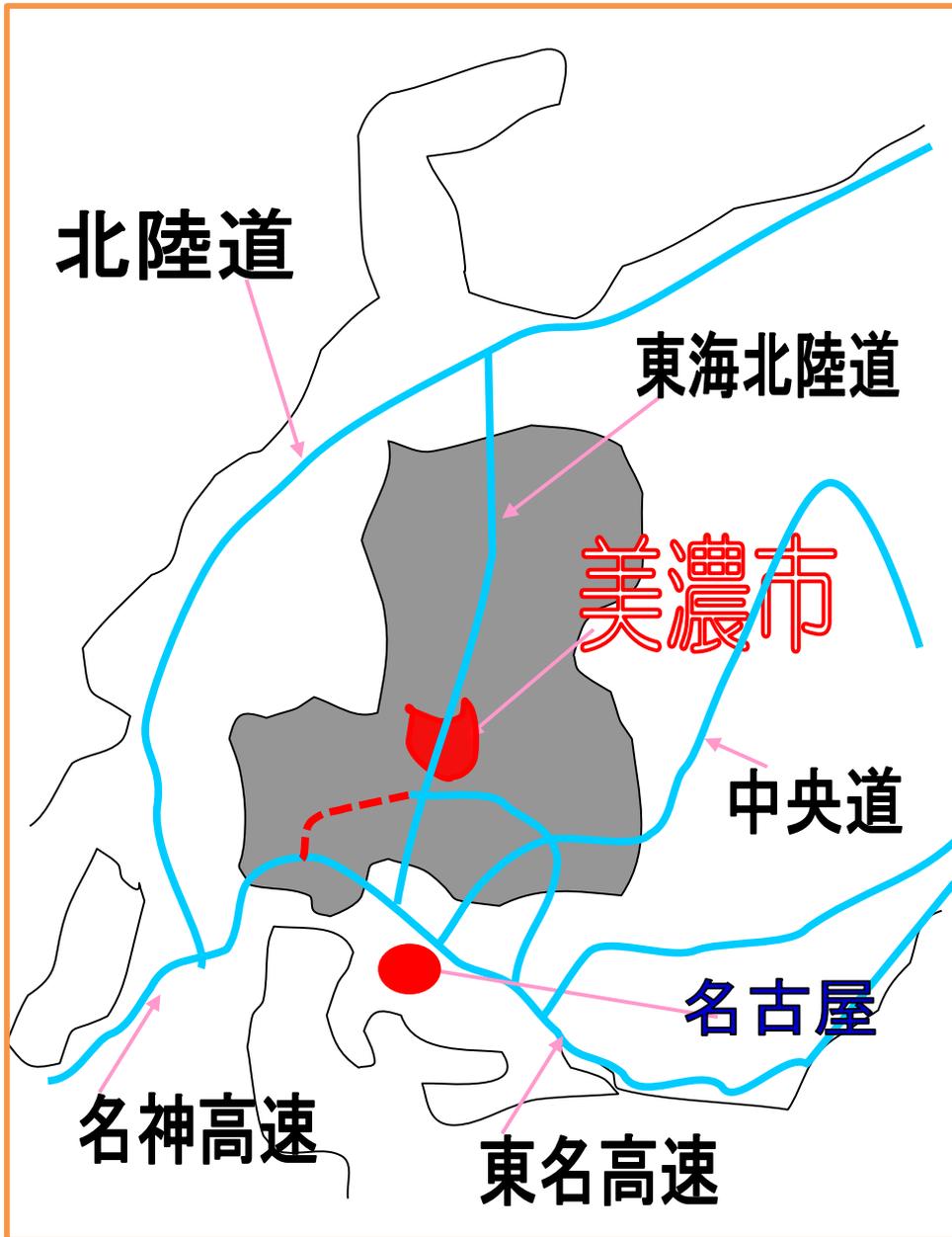
本物は、美しい。
「より美しい美濃市へ」

伝統を活かしたまちづくり

岐阜女子大学客員教授

岐阜県立森林文化アカデミー客員教授 石川道政

■位置図（全体）



人口：22,433人 8,106世帯
面積：117.05km² (H25.5.31現在)

日本のまん真ん中

『和紙とうだつのまち』

歴史文化を活かしたまちづくり



- ・小泉改革
- ・平成の大合併 道州制の検討(第2ステップ)
市町村数の激減 3, 212 ⇒ 1, 772
- ・夕張市の破綻
- ・美濃市単独の道を選択 (小さくともキラリと光るオンリーワンのまち美濃市へ)

地方都市の目指すべき方向性

(持続可能な都市を目指して)

社会的持続性

環境的持続性

経済的持続性

持続可能な都市の理念

都市像
まちと里が共生する
コンパクトシティ

目指すべき方向

美濃市単独の理由 (2005年)

- ・東海北陸、東海環状自動車道の結末点となる地の利
- ・豊かな自然(清流長良川、緑濃き山々などの景観)
- ・伝統文化など豊富な地域資源
(美濃和紙、うだつの上がる町並み、祭り、イベント、神社仏閣)
- ・知名度、まちづくりの成功(美濃の名を残す)
(市民のプライドと活カ→市民協働型まちづくりの実績)

これからのまちづくり

住民主体のまちおこし

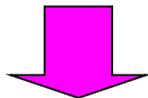
- このままいったらどうなるか？（問題意識）
- こうあったらいいな！（目的意識）
- そのために打つ手は何か？（成功への道）
- 個性豊かなまちへ（地域資源の活用）
- いつ誰がどのように何をするのか？（市民参加）
- すべての市民が成果を共有（夢かなうまち）

まちおこしの行動のパターン

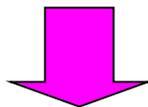
(マズローの欲求の発展段階説)

(レビンの法則 人間力=能力と環境)

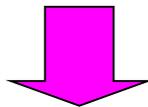
地域の課題(問題の発生)



問題意識(危険の察知)



目標設定(退避行動)



新しい公共によるまちづくり(共同作業)

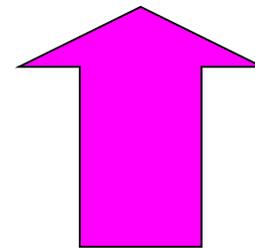
市民力

議員力

職員力

結集

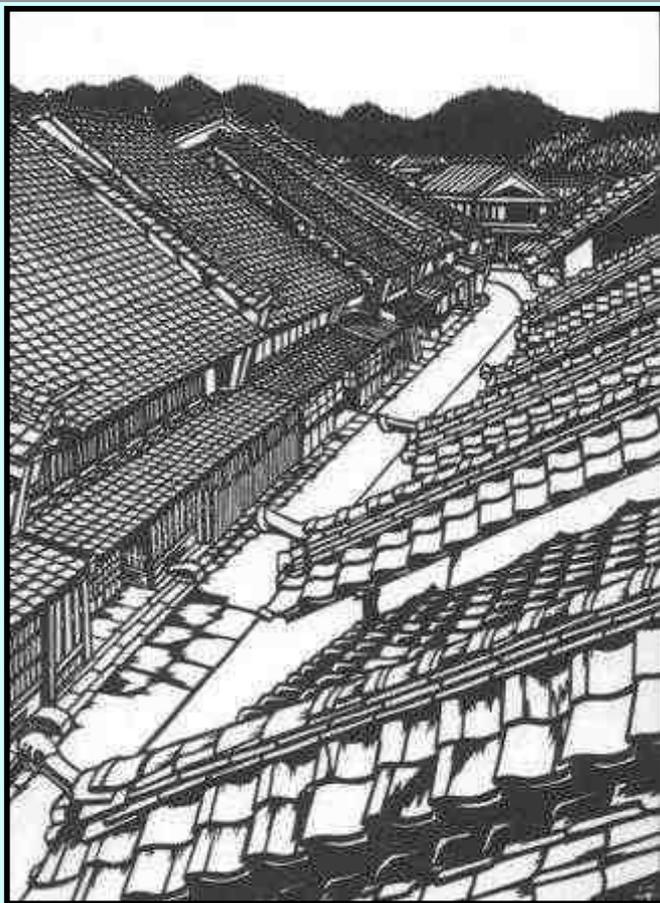
(成果と新たな行動)



1995年 小さくてもキラリと光るオンリーワンのまちづくりスタート

美濃市を変える!! すてきなまちって何だろう!?

美濃市の未来・・・このままでいいのか？



- 消えつつある
歴史を刻んだ町並み
 - 徐々に失われつつある
わがまちの活気
 - うまく活かされていない
わがまちの個性
 - 安心、快適とは言いがたい
生活環境
- 求められる
魅力あるまちづくりの展開

美濃市らしさの創造

1995年策定

～市街地整備マスタープランによるまちづくり～

「市民」が主役

～行政と住民の
協働によるまちづくり～

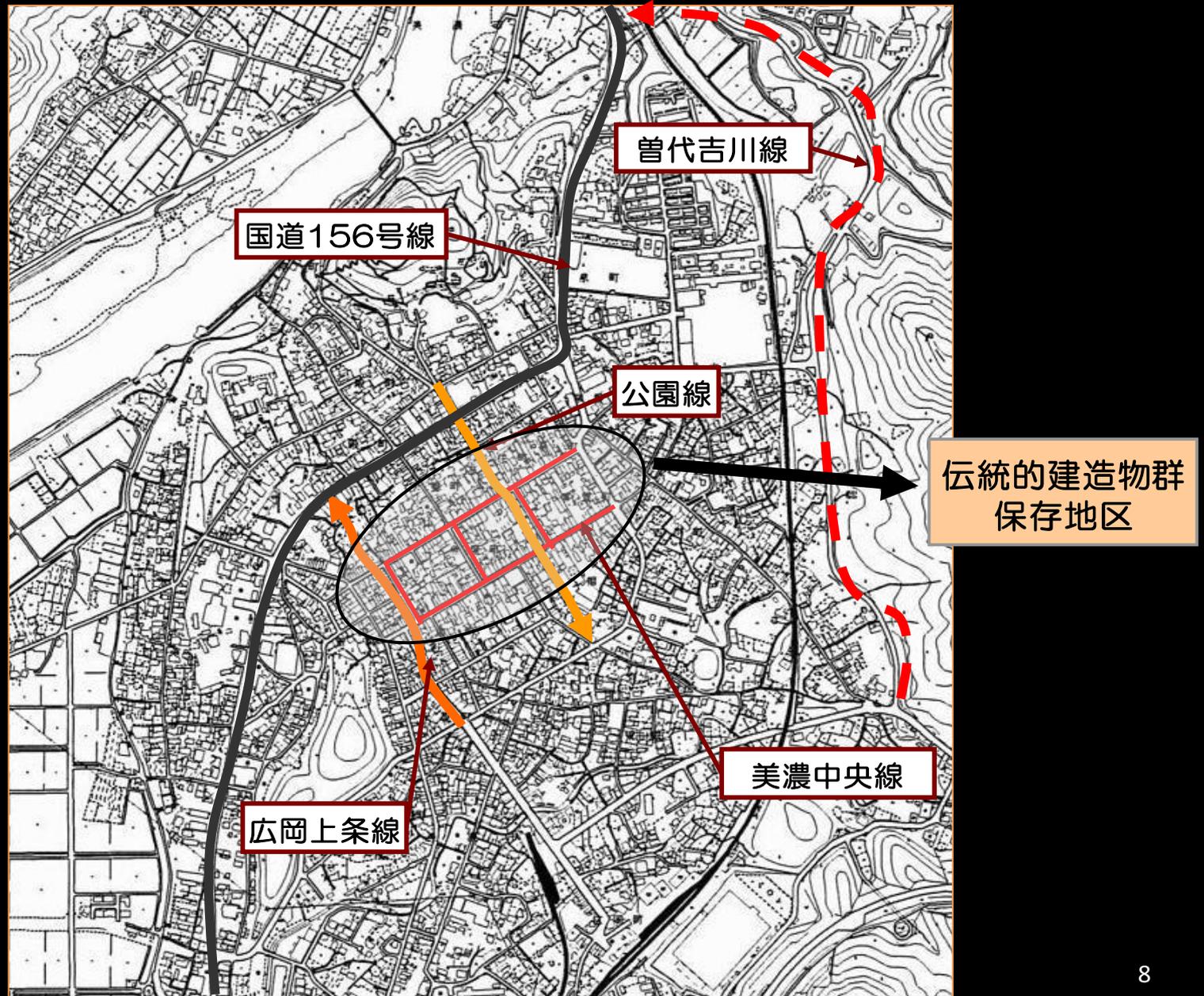
1. まちの良さを再認識（まちへの誇り、自信）
2. 市民参加の環境づくり（積極的な市民参加）
3. まちの特性を最大限に活かす（まちの顔づくり）

美濃市ショーケースの創造

- 産業のネットワークづくり
- 文化・芸術のネットワークづくり
- 水と緑のネットワークづくり



伝統的建造物群選定と都市計画道路



伝建地区の修景と整備



伝建選定前



伝建地区内にポケットパークを整備



伝建選定後（電線類地中化・道路舗装後）



ミシュラン グリーンガイド掲載（1つ星）⁹

空き家・空き店舗の利用

◆商店街活性化事業を利用した店舗の数（17軒）



洋菓子店



土産店（紙製品）



骨董品・古美術販売店



そば店



甘味処



居酒屋

美濃和紙あかりアート展



- 毎年10月に伝建地区一帯で開催
- 2日間で10万人以上が訪れる
- 市民ボランティアが支えるあかりアート展
- 国内外でも開催



韓国 原州市



2005 愛知万博 愛・地球博



東京 新宿 11

アーティスト・イン・レジデンス



魅力あるまちへ 市民力・文化力の向上



市民による創作ミュージカル

ツアーオブジャパン 美濃ステージ



伝統を活かしたまちづくりの成果

-小さくてもキラリと光るオンリーワンのまちづくり-

- H11 美濃市美濃町重要伝統的建造物群保存地区に選定
- H14 第6回ふるさとイベント大賞受賞（美濃和紙あかりアート展）
- H16 美しい町並み大賞受賞
- H17 地域づくり総務大臣表彰（地域振興部門）
- H18 美しい日本の歴史的風土100選
- H19 ティファニー財団賞伝統文化大賞受賞（美濃和紙あかりアート展）
- H21 ミシュラン グリーンガイド掲載
- H22 天皇・皇后両陛下の行幸啓
- H23 歴史的風致維持向上計画（歴史まちづくり法）認定
- H26 本美濃紙がユネスコ無形文化遺産登録





美濃和紙の歴史と現状

昭和40年ごろの上野地区



紙の伝播

～紙以前の書写材、紙の発明と世界への伝播～

- 紙の発明と世界への伝播

西暦105年、中国の蔡倫が発明。

日本へは610年に朝鮮半島より伝来。

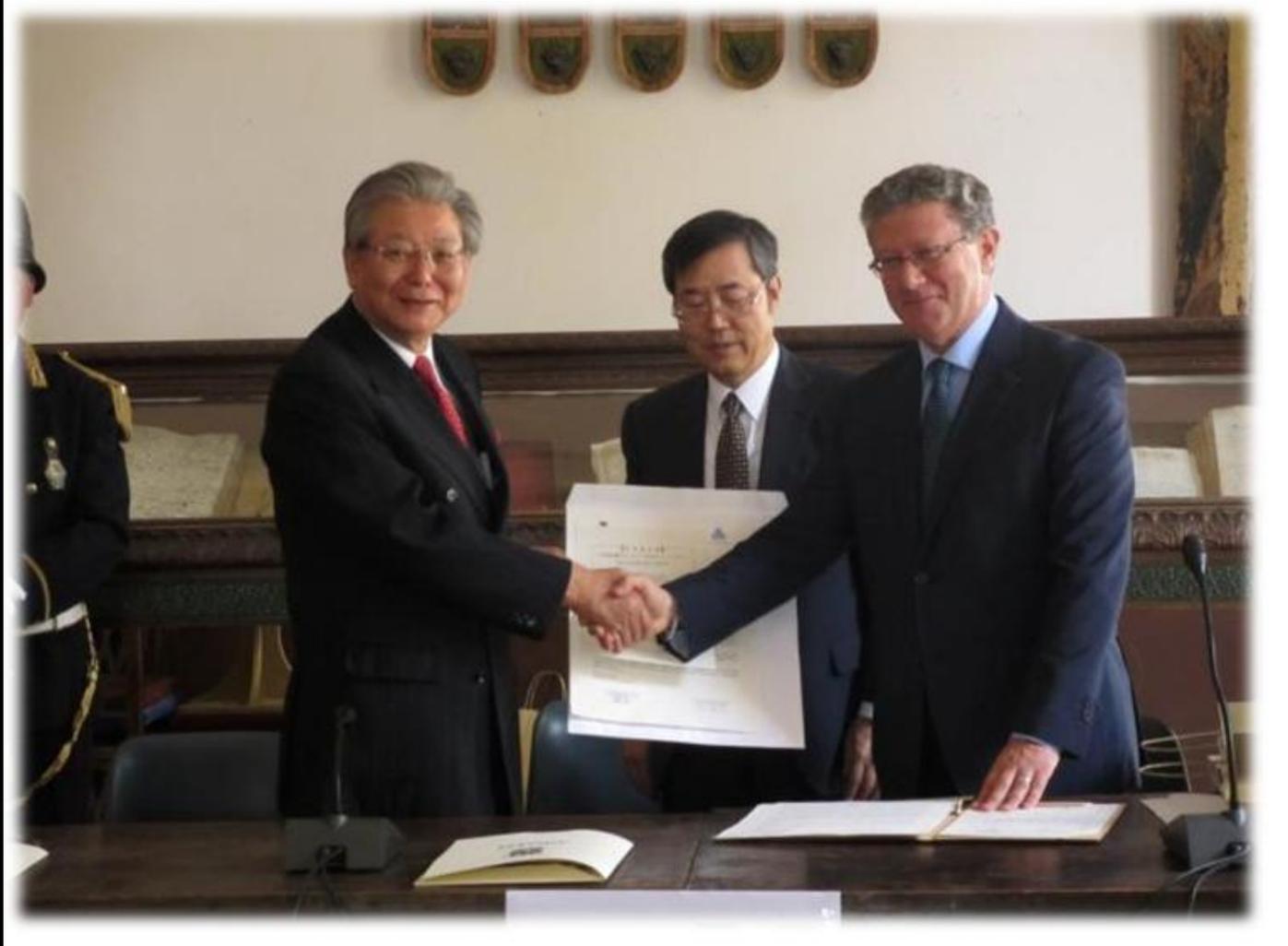
西への伝播は遅い。



平成25年アマルフィ市



「紙の文化交流」協定締結



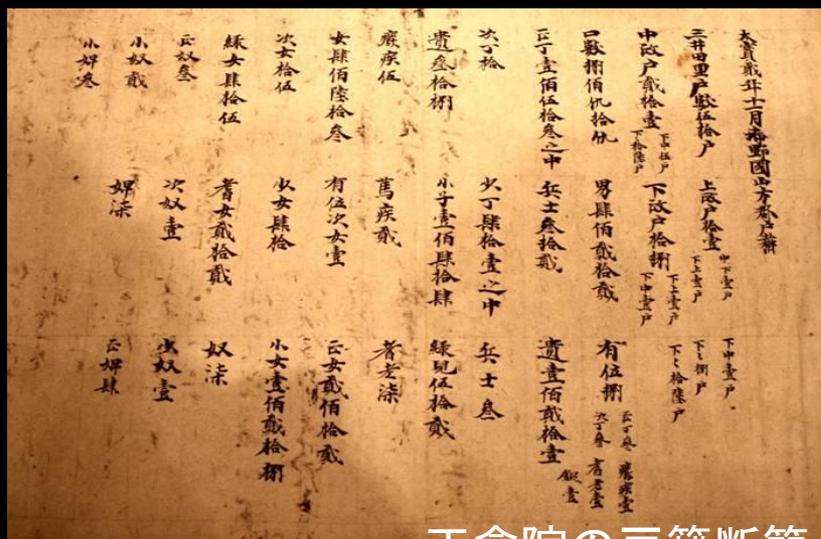
平成25年5月23日 アマルフィ市庁舎議場にて

美濃和紙の歴史

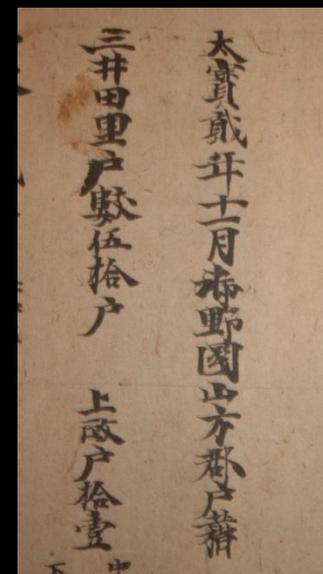
～1300年の歴史の盛衰～

- 紙の伝来

610年に高句麗の僧曇徴により伝来。
正倉院の大宝2(702)年の戸籍断簡に
「御野(美濃)」の名が見られる。



正倉院の戸籍断簡



美濃和紙の若手後継者たち



第5次総合計画

ハードからソフトにシフトしながら
美濃市の持つ伝統や環境を大切にし、
自然と共存した、安心・安全で快適な
暮らしができる環境づくり

かわまちづくり

歴史まちづくり

絆の森整備事業

景観や歴史や文化等の河川が有する地域の魅力を活かし、歴史上重要な建造物及び周辺の地域と人々の営みが一体となった「歴史的風致」の形成、人と森林との絆の再生に向けた、森林整備の推進や野生生物との共存のための森林生態系保全など



今まで築き上げた観光資源を活かし、地域を面的整備し、その地域を結び、美濃市全域を活性化させる!

「美しいまちへ」 ①

将来世代へ継承されていくまちづくり



国指定重要文化財 小坂家住宅



明かり取り



帳場



水琴窟



馬つなぎ石

「美しいまちへ」 ②

将来世代へ継承されていくまちづくり

フルムーン
大人の旅は、グリーン車に乗って

●ふたりあわせて88才以上から
●JR全線グリーン車が利用できます。
●ふたりで、5日間用80,500円、7日間用99,900円、12日間用124,400円

●発売期間：平成19年9月1日から平成20年5月31日まで
●ご利用期間：平成19年10月1日から平成20年6月30日まで

フルムーン
丸亀グリーンバス

JR

川湊灯台



うだつの上がる町並み



フィルムコミッション「大奥」

伝統を活かした観光



美濃まつり・花みこし



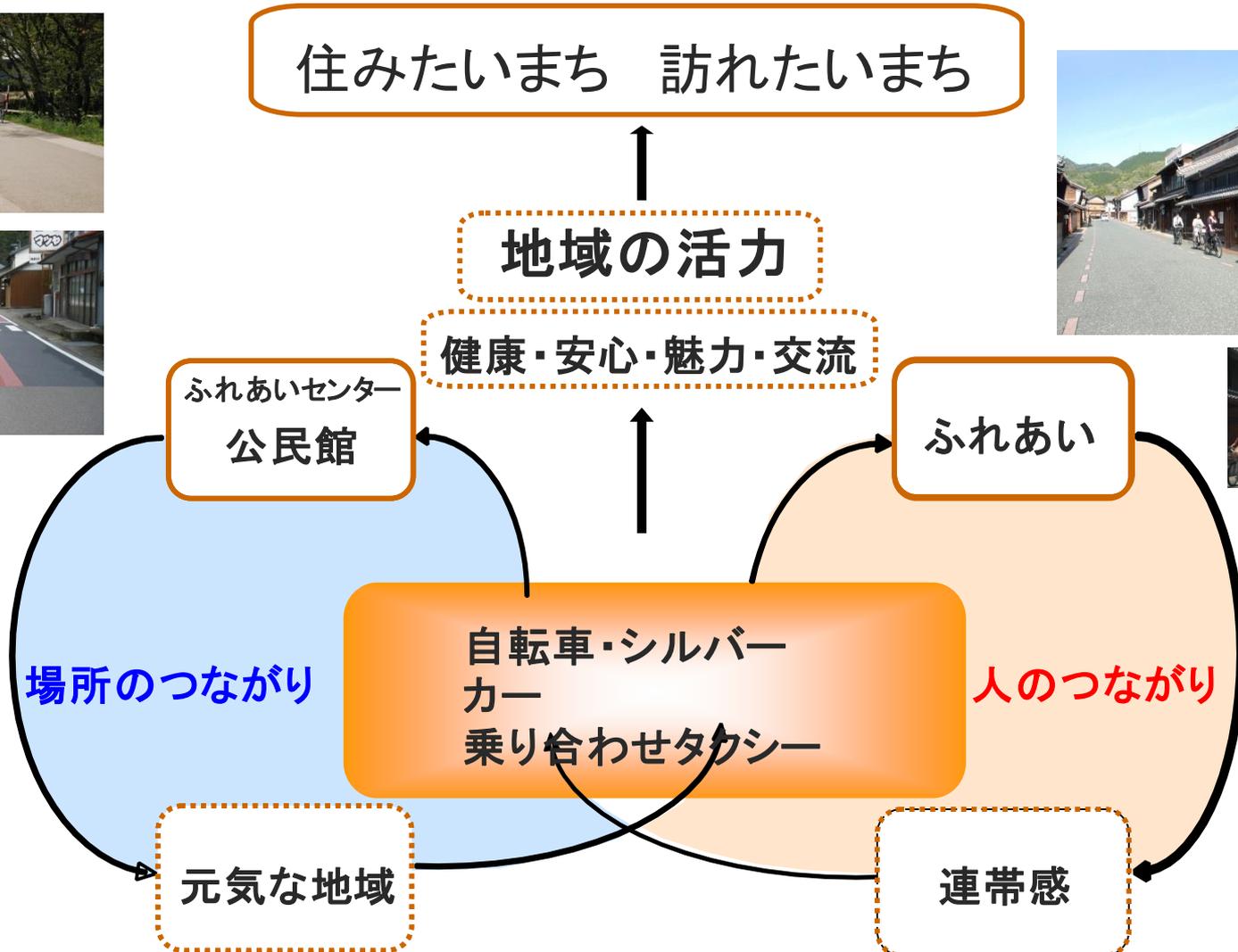
美濃まつり・笹渡り



美濃まつり・祭礼車山

将来に向けて サイクルシティ構想

これからの取り組み



- 市民主役のまちづくり
- 新しい公共
- 特色ある地域づくり
- 多彩な広域連携

従来の公共

公共



公共≒行政
(ほぼ同じ)

市民意識の高まり



社会状況の変化

行政をめぐる
環境の変化

新しい公共

公共



公共を
多様な主体が担う



(美濃市マスコット・キャラクター)
うだつくん

ご清聴ありがとうございました

岐阜女子大学客員教授

岐阜県立森林文化アカデミー客員教授

石川道政